

# ビブリア

発行 いわき市平上荒川字長尾30  
福島工業高等専門学校  
図書委員会  
昭和60年7月17日

No. 57

福島高専 図書館報

## ◆ 巻頭言 ◆

### 緑陰読書のすすめ—木苺に飛ぶ蜜蜂

電気工学科教官 山崎 数彦

庭に一本の木苺がある。三年程前に知人から小さな苗でもらったものであるが、土壌との相性が良かったのか年々の成長が著しく今年は数平方米にも枝を伸ばしている。6月中旬から下旬にかけて淡く色づいた白い花が咲くがあいにくの梅雨にぬれるのが残念である。

しかし、雨さえ降らなければ、早朝から薄暮まで、いづこからともなく飛んで来た多数の蜜蜂が、花から花へと蜜を集めてまさに働き蜂らしく振舞っているのである。よく見ると大きめの蜂、小さい蜂、体の大部分が黒い蜂、黄金色の蜂、など種類も豊富である。蜜の集め方も種類によって異なり、蜜集めのよこびが全身に漲るがごとく躍動的なものあれば、何とも鷹揚な動作のものもある。このようなことを観察しながら見ているといつまでも見飽きない思いがした。

こんな気持ちはどこか別なところでも味わったような気がして思い出した。それは、空港で航空機の離着陸の様子を見ている時の気持と似ているのだと、ジャンボジェット機から小型のプロペラ機まで機種も様々である。

離陸したかと思うと急角度で上昇し見る間に大空のかなたに飛び行くもの、急に視界に入ったかと思うと滑走路に舞い降りるもの。私にはなかなか見飽きぬものである。蜂のように自然のものと人工的なものの違いはあるが。

そんなある日、図書館には別の目的で行ったのだが、ふと目についた本が「(叢書・現象をみつめる) <とぶ>引力とのたたかい」(佐貫亦男著)である。

蜂も航空機も"とぶ"ところが私を飽きさせなかったのではないだろうか。木苺と蜂がこの本を私に紹介してくれたような気さえする。

この本は"とぶ、飛ぶ"現象を虫・鳥・種子・スキーのジャンプ・超音速機・人工衛星などについて見つめた本である、と著者はいう。今、私は興味津津としてこの本を読み始めたところである。

さて、学校は間もなく夏休みになる。学生諸君にとって夏休みは読書の絶好機である。本校の学生の図書館の利用状況は全国の高専の中で上位にあるとのことである。この夏休みには今まで以上に図書館の本を利用しようではないか。

最近はこの本の価格も高くなり、本校図書館の図書も年間約2千冊に減っているが、現在、おおよそ3万5千冊の本が学生諸君の利用を待っている。因にビブリアNo.44にある56年夏休み直前の貸出状況統計によると244人が利用し481冊が貸出されている。この夏の利用倍増を期待して、学生諸君に読書をすすめるものである。

その後、庭の木苺は蜜蜂のお蔭で沢山の実をつけている。暑い夏の陽射しで成熟してゆくのがたのしみである。

## 目 次

|            |   |                    |    |
|------------|---|--------------------|----|
| 巻頭言 .....  | 1 | 図書館利用状況一覧 .....    | 6  |
| 随 想 .....  | 2 | 新着図書目録 .....       | 10 |
| 私の読書 ..... | 3 | 図書館関係今年度の顔触れ ..... | 15 |

## ※悠久のロマンを求めて※

機械工学科教官 佐藤新太郎

この大そうな首題は、6月13日のNHKテレビで放映された「この人・平山郁夫ショー」のサブタイトルである。それまで私は絵を通しての平山郁夫しか知らなかったが、このテレビをみて、その温厚で謙虚な人柄と情熱に心を打たれた。

昭和5年に広島県に生れた彼は、中学3年のとき動員先で被爆している。旧制東京美術学校を卒業後、同校の助手となったが、原爆の後遺症である白血病や借金だらけの経済的不安に加えて、芸術上の壁にぶつかり、身心ともにゆきづまっていた。彼は当時のことを飾りけなく、しかもユーモラスに回想して語っていたのが印象的であった。こんな絶望的な状況の中で、「死ぬ前に1枚でもいいから、身体は疲れていても心は喜びに溢れている画を描いてみたい」と決意して制作したのが、「仏教伝来」であるという。

三蔵法師が仏典を求めてインドに渡り、18年間の苦難の旅を終えての帰途を描いたもので、白馬に乗った三蔵は疲れていても経典を得た喜びに溢れている。その背景にはオアシスの森に飛ぶ鳥や足下に咲き乱れる草花が描かれ、この色彩的な背景と妖しく単純化された僧形が浮び上っており、新しい感覚とロマンを感じさせる。この作品は、昭和34年の院展に出品され入選したが、日本画家平山郁夫が画壇に大きく登場する出発点ともなった。それ以来、仏教をテーマにした絵画、仏伝連作が始まった。二十数年のシルクロードの写生旅行の体験から得た仏伝を描いた。インドは広大で仏跡も多いが、ペルシャの影響が強いことを知り、その根をたぐって行くうちに西へ西へと、とりつかれたように30回も夫唱婦隨の旅を続けた。単に幻想のシルクロードを追いつけるのではなく、人類文化の源泉の活力のようなものを探し求めてきた。そこにシルクロードの魅力があると語っている。

私は平山郁夫の絵に魅せられて、東京の画展に行ったり、画集を求めたりしたが、このテレビをみて、その人柄と制作に秘められている画家の生

命に強い感動を覚えた。そして彼が科学者、技術者の道を歩んだとしても、きっと立派な仕事をしたに違いないと思う。

技術者も悠久のロマンを求めて努力したいものである。

## ※KEY—BOARD※

工業化学科教官 伊藤正之

月は中天にあり、薄闇にそよぐ柳の枝、湖畔に浮ぶ舟から聞こえる哀愁を帯びた胡弓の音は、情緒豊かに聞く人の胸をうつ。この胡弓で奏でる中国の古典音楽はすばらしい。しかし、どの曲を聞いても全く同じように聞こえるのは何故だろうか？

この原因は、弦楽器である胡弓を奏するとき指をすべらして「キュー」という連続音を随所に入れるためといわれる。

音は連続に存在し、20～12000サイクルの間が耳に聞える。西洋音楽はこの無数の連続音の中から基本音として40～50を設定しキー・ボード化した。

D、レ、ミ、ファがそれであり、ピアノなどの鍵盤の数を見れば解る。そして、その組合せで演歌・流行歌は勿論、バッハ、ベートーベン、チャイコフスキー、ショパンその他我々の心を打ち、なぐさめ、活力を出させてくれる世界の名曲が生れてきた。今後も多くの名曲が生れることであろう。

ところが、胡弓はキー・ボード化されていない連続音を多く入れるためにどの曲も同じに聞こえる。

音楽は人間が生み出したキー・ボード化の最高の傑作である。キー・ボード化された少ない標準音をベースとして、作曲方法・演奏方法などで自分の才能を無限に発揮して、新しい名曲が創造される。

世の中はすべて複雑かつ混沌で形成されている。学生生活も、ややもすれば目標を失い迷い勝ちである。ここで自分自身をみつめて各自生活のキー・ボードを発見し生活のリズムをつくりあげる必要がある。

21世紀は現在の学生諸君の時代である。キー・ボードをベースとして自己の才能を発揮させ、創造および創出を通じ生き甲斐を求めようではないか。

さて、キー・ボード化の立場で中国古典音楽をコキ下したので、なにか賞めねばなるまい。ある、ある、世界最高の美味といわれる中華料理である。

中華料理店に入ってメニューをみると1,000近くの料理が書かれている。不思議にもその中のどれを頼んでも断わられることが先づない。

これも材料の数は20程度で、それに焼く、炊め

る、茹でるなどの方法とその他の組合せで無数の料理が迅速簡単に出来上がる。これもキー・ボード化の良き例である。

人生も音楽のように、ある時は高く、ある時は低く、強く弱く、憩もあり音符の流れのごとく波をうっていても調和と秩序の中に情感が埋め込まれている。

年老いて過去をふりかえった時、自分の人生が名曲であるよう努力すべきであろう。

どのようなすばらしい事象にも、その底辺に標準化・規範・規律・規則が調和よくキー・ボード化され埋め込まれている。

運命といえども遼大な宇宙の規則正しい調和の中の大きなうねりの落し子であるかも知れない。

自分自身のキー・ボードを発見し、生活の中に埋め込んで人生の名曲を作曲するのも楽しいことではないか。

## 私の読書

### ＊赤川次郎をきっかけに＊

1年電気 須藤隆士

本を読むということは、自分と全々縁のないことと思っていたが、4、5ヶ月前、ふとしたことから読み始め、その面白さに熱中してしまったのである。

赤川次郎の書いたものを読んだのがそのきっかけである。いまのところ彼の作品ばかり追いかけて読んでいるが、この人がいなかったら、いまだに本を読むようなことはなかったと、我ながら思うのである。

本というものは、不思議なもので、何か私たちに伝えるべきものを内に秘めているのである。本を読み始めると、つい自分がその物語の中の人物になったような気にさせられる。そして、その人物が、他からさまざまな影響を受けることによって、だんだんと別な思想や行動に向かって行ったりすると、自分だったら、このような行動をとるのに、または、この場面では、このような行為は決してしないなど、自分なりの考えが生じてくるのである。そして自分との相違点、あるいは共通点などを照らし合わせ、それについてのさまざまな

点で、考えさせられるのである。

かの有名な鈴木健二アナウンサーは、読書家として広く世間に知られている。週に約30時間の読書の時間を設け、多数の本を読破しているのである。週に1度は、1日中読み続けるということである。そのために、机の上は置ききれないほどの本の山で、今にもくずれ落ちそうな状態であるそうだ。この人も、幼い頃から本を読んできたおかげで、自分の人生が多少なりとも変わったと言っている。

このように、読書というものは、その場だけのものではなく、その後のいろいろな出来事などに対して、その人なりに対処していくための重要な糧となっていくと思う。

要するに、著者と自分との人生観の違いを比較しながら、今の自分に足りない部分を吸収し、今以上の自分をそこに形成していくのである。読書とは、自分をよりいっそう高める、道具なのである。



## 水と緑と土(伝統を捨てた社会の行方)

富山和子著を読んで

2年機械 瀬庭和正

僕は、時々、「自然は人間に対して何者であるか」等ということをおもうことがあります。勝手ながら自分自身、自然は人間から見ると、神のような存在であり、もしくは高次元の生物のようなもの、と想像しています。その自然を人間の手で荒している現代は、誠に身勝手であり、無神経すぎるとおもうます。そして、そのしゅべ返し、人間にもたらされることは、自然のサイクルを考えれば逃れようのない事だおもうのです。

この作品は自然破壊の原因は何であるかを中心にお話がすすめられています。自然環境の破壊が目に見えて激化したのは、十数年前からで、それは、人々の意識をも破壊へ導いているとのことです。

又、機械技術の革新は掠奪をより容易にさせ、破壊の規模と速度とを拡大させたということおます。まったく機械科の僕にしてみれば耳の痛い意見です。しかし、確かにその通りだおもうます。戦後、焼野原の日本を現在の世の中にしたのは機械化を中心とした技術革新と経済の高度成長によってだおもうます。が、その実行の仕方、過去の政府や国の方針に過ちが見られます。土地改革からはじまってダム設置などおまで、機械化による異常なまでの緑の伐採は洪水をもたらし、「二十世紀最大の失敗」といわれる、アスワンハイダムの設置は、良質な土壌を失ったため、文明の滅亡、病虫の発生により多くの害を受け、環境悪化につながりました。

僕がおもうには、水は命の源、人間が最も必要とする物質であり、緑は、これからの電子・機械技術時代の人間が密集する環境の中で気持ちに安らぎを与えてくれるものであるおもうます。又、人間が急増し、高齢化がさわがれている現在、緑の伐採は工場による汚染に拍車をかけ、地球上の大気は、二酸化炭素が多くなり、大気のお温度が上昇し、いくつかの問題が起きることは確かであるおもうます。それから、二十一世紀は、戦争か食料問題という時代になると言われていますが、その際に生産の源である良質な土壌がないことには話にならないおもうます。現在でも、農地をつぶし工場等を設置しているようですが、目先だけのことを考えず、もっと社会全体を考えたければならぬ時

ビブリア 57

期に入って来ているお思います。だからといって、この時代において、機械力を手離すことは、いささか無理であります。だから、これからは、機械と自然を共に見つけ、機械化・工業化の行きすぎには、きちんと歯止めをかけ、自然環境を大切に、伝統を捨てることなく近代科学の技術をミックスして、新しい何かを産み出していけるような、エンジニアになりたいお思います。

## 「日本に象がいた頃」

一亀井節夫著一

2年土木 佐々木達也

象が日本に昔、大昔、野性として住んでいたことは、一般的常識としては知っていたが、どんな種類の象が、どんな形で、どのように生存していたのかはまったくといっていい程知っていなかった。しかし、この本を読むことによって、象のたくさんいた頃の自然の様子、人間の有無、生活様式まで知ることができたのは大収穫であった。

小さい頃、動物園に行ってお生まれて初めて見た本物の象への驚きと、喜びは大変なものだった。そして象は今もなお、コアラやエリマキトカゲのブーム的な人気とは違った意味で多くの子供達に親しまれている。その親しみある象が、古代の歴史的事実の発見に役立っているのは、やはり「生きる化石」なのであろうか。

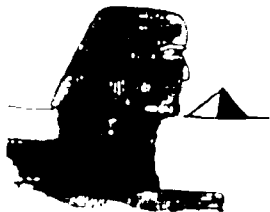
古代・日本と中国大陸が陸続きであった頃、その中国大陸を渡ってやってきた象の化石が、近代になって発見され、日本に象がいたという事が証明されている。しかし、そうした事実にお気づき前の人々は象の骨を発見した時、それを何だとお思ったのであろうか。それを日本の古代人は竜骨とお言ったのであろう。竜骨は、中国ではかなり古くから民間薬として鎮痛剤・精神安定剤として使われていた漢方薬の一種であり、「神農本草経」にも、竜骨・竜齒として記されているし、奈良の正倉院の北倉に納められている正倉院薬物の中にも竜骨が納められているという。神獣・竜の骨とお思って飲むと病気によく効いたのであろうか？ この竜骨から原産地を求めてみると、全アジアの各地に及び、渡来してきた地域の広さをうかがい知ることができるらしい。

18・19世紀には外国でも象の骨を発掘して、「天変地異説」「ノアの大洪水」「地球論」「斉一説」などあげればきりのない程様々な説が考え出され、多くの論争がおこった。そして様々な、長期にわたる資料の蓄積と考察は、ついに1859年のダーウィンによる「種の起源」として進化思想の土台を築く道しるべとなった。

歴史時代になって象が日本に渡来したのは1408年に、南蛮船が若狭に黒象一頭をもたらして、將軍足利義持に贈ったのが最初であったそうである。以後にも象は渡来して、第5回目の象は、「享保の象」とよばれて、それまでの日本人の「象についての認識」一変させる重要な役割を果たしたと言われている。この象は雌雄各一頭で、メスは舌の上に腫れ物ができて三ヶ月で死亡したそうで、オスの方はその年から十三年間、浜御殿で飼われ、何度も江戸城に連れていかれたそうだ。1741年（寛保元年）に民間に下げ渡されたが、翌年に源助という農夫が管理を怠り、餓死させたのだろつと言われていゝ。しかし、一日の食糧が餡なし饅頭50ヶ、真菰15抱え、根笹15抱え、といった大食漢であつたらしいので、源助がケチつたのも仕方ないことだと思ふ。

この他目をひかれたのはマンモス象である。他の大部分の象は暖い気候を好むのだが、マンモス象は寒さに対応できるからである。その事は沢山の冷凍マンモスによって、毛深さ、脂肪の厚さなどから察することができる。しかし、マンモスが凍死したとは考えられない。勿論、天変地異説も考えられるが、水死して寒期に冷凍づけになつたのだと思ふ。

今、動物園に行きさえすれば容易に象を見ることが出来るが、アフリカなどでは心ない密猟者が、象牙の為だけに、象を何十頭、何百頭と殺しているが、その為絶滅の危機に瀕している



という。金もうけの為に「生きている化石」を滅してしまつたら、歴史的・地学的・動物学的な面に影響するばかりでなく、象を見る時のあの驚きと喜びといった感動や、多くの子供の夢を奪ってしまうのではなからうか。

## ＊ S F 小説を読む ＊

4年電気 渡辺百人

少々馬鹿にされるかもしれませんが、私はSFが好きです。とても偉い人が書いた本は、読むのに緊張のせいか疲れるのに対し、気軽に読め楽しめるからです。個人的趣味ということも多少あるとは思いますが。

私がSFに興味を持ったのは、中学のころ友達にある本を勧められた事から始まります。その本というのがSF小説の古典「レンズマン」シリーズだったので。去年映画になつたので名前だけでも知っている人は多いと思います。四冊千ページ以上の本を、夢中で読みました。まあ内容は今になってみれば少々古臭いのですが、ともあれ、これがきっかけでSFを読む機会が増えたのです。

最近読んだ内で良かったのは「宇宙の戦士」と、いかにもSFというものです。内容というと、なんとなく軍隊に入隊した少年が一人前の兵士になるという話で、暴力肯定、愛国心を前面に押し出しています。兵士の人間の感情など心理描写も鋭く、ヒューゴー賞を受けただけのことはある、読みごたえのある内容です。

また、宇宙の出てこない変わったSFで、「ミクロの決死圏」は古いですが楽しめます。内容は、人間を細菌サイズまで縮小して、脳の内側の手術をする話ですが、時代を感じさせる事に、レーザー銃の部品がトランジスタだそうです。また、人間の体内描写が興味深いです。

ここで私は思うのですが、SF作家の想像力にはいつも脱帽させられます。作者の想像力は夢や絵空事を、物語の中で現実そのものと化していきます。その中には、読者が思いもよらなかつた事があり、それでこそ夢があるのです。

現代の科学は進歩して、昔は本の中だけのお話しだった月旅行も現実のものとなりました。昔のSFは、今となつてはSFとは言えなくなつてしまいました。しかし、SFで当然のように使われるレーザー銃は、いまだ実用化されてませんし、超

ビブリア 57

光速航行、タイムマシンなどは、現代科学ではまったく扱っておりません。SFの世界はいつでも一歩前を進んでいます。今は単なるフィクション

でも、それは何世紀、又は何十年後の未来かもしれないと思うと、一層読む気が沸き上がってきます。

## 図書館利用状況一覽 利用者統計

### (1) 57～59年度3カ年学生利用状況

| NDC分類 | 利用冊数 | 実 数   |       |       | %     |       |       |
|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|       | 年 度  | 57    | 58    | 59    | 57    | 58    | 59    |
| 総 記   |      | 282   | 191   | 160   | 4.6   | 3.2   | 2.4   |
| 哲 学   |      | 272   | 317   | 373   | 4.4   | 5.3   | 5.5   |
| 歴史・地理 |      | 256   | 174   | 239   | 4.0   | 2.9   | 3.5   |
| 社会科学  |      | 156   | 79    | 94    | 3.0   | 1.4   | 1.4   |
| 自然科学  |      | 1,416 | 1,247 | 1,830 | 23.0  | 20.7  | 27.0  |
| 工学・技術 |      | 3,181 | 3,619 | 3,581 | 52.0  | 60.2  | 52.8  |
| 産 業   |      | 2     | 2     | 4     | -     | -     | -     |
| 芸術・体育 |      | 27    | 32    | 46    | 0.4   | 0.5   | 0.7   |
| 語 学   |      | 38    | 55    | 119   | 0.6   | 0.9   | 1.8   |
| 文 学   |      | 514   | 296   | 335   | 8.0   | 4.9   | 4.9   |
| 合 計   |      | 6,144 | 6,012 | 6,781 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

### (2) 59年度利用概況

|        |         |
|--------|---------|
| 開館日数   | 235日    |
| 総入館者   | 44,333人 |
| 1日平均   | 188人    |
| 1日帯出人員 | 28人     |
| 1日帯出冊数 | 29冊     |

### (3) 利用人員(科・学年別)

| 学科  | 学年  | 1    | 2    | 3     | 4     | 5     | 計     | %     |
|-----|-----|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
|     | 機 械 |      | 223  | 184   | 635   | 815   |       |       |
| 電 気 |     | 198  | 547  | 538   | 460   | 484   | 2,227 | 33.4  |
| 化 学 |     | 134  | 113  | 380   | 550   | 171   | 1,348 | 20.2  |
| 土 木 |     | 121  | 53   | 181   | 173   | 289   | 817   | 12.2  |
| 合 計 |     | 676  | 897  | 1,734 | 1,998 | 1,372 | 6,677 |       |
| %   |     | 10.1 | 13.4 | 26.0  | 30.0  | 20.5  |       | 100.0 |

### (4) 59年度学年別・分類別・利用冊数

| 分 類   | 学 年 |       | 1   |       | 2     |       | 3     |       | 4     |       | 5     |       | 計 | % |
|-------|-----|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---|---|
|       | 実数  | %     | 実数  | %     | 実数    | %     | 実数    | %     | 実数    | %     |       |       |   |   |
| 総 記   | 65  | 9.6   | 28  | 3.1   | 21    | 1.4   | 31    | 1.6   | 15    | 1.0   | 160   | 2.4   |   |   |
| 哲 学   | 180 | 26.6  | 16  | 1.8   | 13    | 0.7   | 150   | 7.5   | 14    | 1.0   | 373   | 5.5   |   |   |
| 歴史・地理 | 45  | 6.6   | 159 | 17.8  | 9     | 0.5   | 13    | 0.7   | 13    | 0.9   | 239   | 3.5   |   |   |
| 社会科学  | 8   | 1.2   | 20  | 2.2   | 9     | 0.5   | 23    | 1.1   | 34    | 2.3   | 94    | 1.4   |   |   |
| 自然科学  | 142 | 21.0  | 162 | 18.0  | 778   | 44.6  | 574   | 28.7  | 174   | 11.8  | 1,830 | 27.0  |   |   |
| 工学・技術 | 164 | 24.3  | 366 | 40.8  | 800   | 45.9  | 1,115 | 55.8  | 1,136 | 77.3  | 3,581 | 52.8  |   |   |
| 産 業   |     |       |     |       |       |       |       |       | 4     | 0.3   | 4     | -     |   |   |
| 芸術・体育 | 11  | 1.6   | 10  | 1.1   | 7     | 0.4   | 10    | 0.5   | 8     | 0.5   | 46    | 0.7   |   |   |
| 語 学   | 6   | 0.9   | 36  | 4.0   | 28    | 1.6   | 20    | 1.0   | 29    | 2.0   | 119   | 1.8   |   |   |
| 文 学   | 55  | 8.2   | 100 | 11.2  | 76    | 4.4   | 62    | 3.1   | 42    | 2.9   | 335   | 4.9   |   |   |
| 合 計   | 676 | 100.0 | 897 | 100.0 | 1,741 | 100.0 | 1,998 | 100.0 | 1,469 | 100.0 | 6,781 | 100.0 |   |   |

# 昭和59年度分類別学生利用状況

(昭和60年3月31日現在)

| 蔵書数 (利用冊数)     |             | 蔵書数 (利用冊数)   |                |
|----------------|-------------|--------------|----------------|
| 000 総記         | 14 (2)      | 60 社会学・社会問題  | 309 (11)       |
| 10 図書館         | 85 (2)      | 70 教育        | 626 (9)        |
| 20 図書・書誌学      | 58 (2)      | 80 風俗・習慣・民俗学 | 235 (5)        |
| 30 百科事典        | 500 (11)    | 90 国防・軍事     | 18 (4)         |
| 40 一般論文集・講演集   | 63 (4)      | 計            | 2,165 (94)     |
| 50 逐次刊行物       | 68 (70)     |              |                |
| 60 学会・団体研究調査機関 | 2 (0)       | 400 自然科学     | 613 (33)       |
| 70 新聞・ジャーナリズム  | 406 (3)     | 10 数学        | 2,024 (277)    |
| 80 双書・全集       | 1,278 (60)  | 20 物理        | 1,741 (643)    |
| 90 その他         | 49 (6)      | 30 化学        | 2,402 (767)    |
| 計              | 2,523 (160) | 40 天文        | 263 (65)       |
|                |             | 50 地学・地質     | 134 (6)        |
| 100 哲学         | 434 (101)   | 60 生物・博物     | 206 (21)       |
| 10 各論          | 58 (5)      | 70 植物        | 60 (1)         |
| 20 東洋          | 343 (70)    | 80 動物        | 42 (2)         |
| 30 西洋          | 323 (66)    | 90 医学        | 192 (15)       |
| 40 心理          | 111 (29)    | 計            | 7,677 (1,830)  |
| 50 倫理          | 98 (21)     |              |                |
| 60 宗教          | 72 (7)      | 500 工学・技術    | 2,681 (741)    |
| 70 神道          | 5 (1)       | 10 土木        | 2,055 (337)    |
| 80 仏教          | 251 (56)    | 20 建築        | 84 (13)        |
| 90 キリスト教       | 109 (17)    | 30 機械工学      | 1,932 (487)    |
| 計              | 1,804 (373) | 40 電気工学      | 2,947 (1,545)  |
|                |             | 50 海事工学      | 31 (174)       |
| 200 歴史総記       | 271 (113)   | 60 採鉱冶金      | 350 (211)      |
| 10 日本          | 857 (16)    | 70 化学工業      | 1,021 (63)     |
| 20 アジア         | 97 (37)     | 80 製造工業      | 44 (9)         |
| 30 ヨーロッパ       | 73 (13)     | 90 家事        | 20 (1)         |
| 40 アフリカ        | 4 (3)       | 計            | 11,165 (3,581) |
| 50 北米          | 4 (2)       |              |                |
| 60 南米          | 0 (0)       | 600 産業総記     | 81 (0)         |
| 70 オセアニア       | 0 (0)       | 10 農業        | 38 (4)         |
| 80 伝記          | 496 (16)    | 20 園芸        | 10 (0)         |
| 90 地理          | 534 (39)    | 30 蚕糸        | 0 (0)          |
| 計              | 2,332 (239) | 40 畜産        | 0 (0)          |
|                |             | 50 林業        | 10 (0)         |
| 300 社会科学総記     | 256 (33)    | 60 水産        | 17 (0)         |
| 10 政治          | 165 (7)     | 70 商業        | 27 (0)         |
| 20 法律          | 149 (3)     | 80 交通        | 51 (0)         |
| 30 経済          | 358 (9)     | 90 通信        | 45 (0)         |
| 40 財政          | 16 (12)     | 計            | 279 (4)        |
| 50 統計          | 33 (1)      |              |                |

| 蔵書数 (利用冊数) |         |     |        | 蔵書数 (利用冊数) |        |        |           |
|------------|---------|-----|--------|------------|--------|--------|-----------|
| 700        | 芸術・美術   | 228 | ( 0 )  | 60         | スペイン語  | 4      | ( 0 )     |
| 10         | 彫刻      | 10  | ( 0 )  | 70         | イタリア語  | 4      | ( 0 )     |
| 20         | 絵画      | 143 | ( 0 )  | 80         | ロシア語   | 6      | ( 0 )     |
| 30         | 版画      | 3   | ( 2 )  | 90         | その他    | 37     | ( 0 )     |
| 40         | 写真      | 49  | ( 6 )  |            | 計      | 1,719  | ( 119 )   |
| 50         | 工芸      | 10  | ( 0 )  |            |        |        |           |
| 60         | 音楽      | 186 | ( 18 ) | 900        | 文学総記   | 565    | ( 29 )    |
| 70         | 演劇      | 30  | ( 0 )  | 10         | 日本文学   | 2,733  | (199)     |
| 80         | 体育・スポーツ | 265 | ( 20 ) | 20         | 中国文学   | 131    | ( 5 )     |
| 90         | 諸芸・娯楽   | 10  | ( 0 )  | 30         | 英米文学   | 779    | ( 55 )    |
|            | 計       | 934 | ( 46 ) | 40         | ドイツ文学  | 124    | ( 19 )    |
|            |         |     |        | 50         | フランス文学 | 157    | ( 16 )    |
| 800        | 語学総記    | 96  | ( 4 )  | 60         | スペイン文学 | 2      | ( 0 )     |
| 10         | 日本語     | 296 | ( 7 )  | 70         | イタリア文学 | 7      | ( 1 )     |
| 20         | 中国語     | 186 | ( 0 )  | 80         | ロシア文学  | 66     | ( 10 )    |
| 30         | 英語      | 915 | ( 84 ) | 90         | その他    | 13     | ( 1 )     |
| 40         | ドイツ語    | 159 | ( 21 ) |            | 計      | 4,577  | ( 335 )   |
| 50         | フランス語   | 16  | ( 3 )  |            | 合 計    | 35,175 | ( 6,781 ) |

## 59年度春休み利用状況

### (1) 帯出人員及び冊数

| 学科  | 学年 | 人 |   |    |    |   |    | 冊 数 |    |    |    |   |    |
|-----|----|---|---|----|----|---|----|-----|----|----|----|---|----|
|     |    | 1 | 2 | 3  | 4  | 5 | 計  | 1   | 2  | 3  | 4  | 5 | 計  |
| 機 械 |    | 4 |   | 4  | 5  |   | 13 | 5   |    | 6  | 7  |   | 18 |
| 電 気 |    |   | 5 | 11 | 9  |   | 25 |     | 9  | 18 | 14 |   | 41 |
| 化 学 |    | 4 |   | 2  | 8  |   | 14 | 2   |    | 4  | 13 |   | 19 |
| 土 木 |    |   | 2 | 6  | 2  |   | 10 | 3   | 4  | 8  | 3  |   | 18 |
| 計   |    | 8 | 7 | 23 | 24 |   | 62 | 10  | 13 | 36 | 37 |   | 96 |

### (2) 分類別冊数

| 分類    | 学年 | 1  | 2  | 3  | 4  | 5 | 計  |
|-------|----|----|----|----|----|---|----|
| 総 記   |    |    |    |    |    |   |    |
| 哲 学   |    |    |    |    | 3  |   | 3  |
| 歴史・地理 |    |    | 1  |    |    |   | 1  |
| 社会科学  |    |    | 1  |    |    |   | 1  |
| 自然科学  |    | 3  | 2  | 11 | 16 |   | 32 |
| 工学・技術 |    | 5  | 4  | 20 | 17 |   | 46 |
| 産 業   |    |    |    |    |    |   |    |
| 芸術・体育 |    |    |    |    |    |   |    |
| 語 学   |    |    |    | 4  |    |   | 4  |
| 文 学   |    | 2  | 5  | 1  | 1  |   | 9  |
| 合 計   |    | 10 | 13 | 36 | 37 |   | 96 |



(3) 帯出者学年・科別

| 学年 | 科 | 分類<br>在籍人 | 総記 | 哲学 | 歴史 | 社会 | 自然 | 工・技 | 産業 | 芸・体 | 語学 | 文学 | 計  |
|----|---|-----------|----|----|----|----|----|-----|----|-----|----|----|----|
|    |   |           | 0  | 1  | 2  | 3  | 4  | 5   | 6  | 7   | 8  | 9  |    |
| 1  | M |           |    |    |    |    | 1  | 4   |    |     |    |    | 5  |
|    | E |           |    |    |    |    |    |     |    |     |    |    |    |
|    | C |           |    |    |    |    | 2  |     |    |     |    |    | 2  |
|    | 士 |           |    |    |    |    |    | 1   |    |     |    | 2  | 3  |
|    | 計 |           |    |    |    |    | 3  | 5   |    |     |    | 2  | 10 |
| 2  | M |           |    |    |    |    |    |     |    |     |    |    |    |
|    | E |           |    |    | 1  | 2  | 4  |     |    |     |    | 2  | 9  |
|    | C |           |    |    |    |    |    |     |    |     |    |    |    |
|    | 士 |           |    | 1  |    |    |    |     |    |     |    | 3  | 4  |
|    | 計 |           |    | 1  | 1  | 2  | 4  |     |    |     |    | 5  | 13 |
| 3  | M |           |    |    |    |    | 2  | 4   |    |     |    |    | 6  |
|    | E |           |    |    |    |    | 2  | 12  |    |     | 4  |    | 18 |
|    | C |           |    |    |    |    | 4  |     |    |     |    |    | 4  |
|    | 士 |           |    |    |    |    | 3  | 4   |    |     |    | 1  | 8  |
|    | 計 |           |    |    |    |    | 11 | 20  |    |     | 4  | 1  | 36 |
| 4  | M |           |    |    |    |    | 1  | 6   |    |     |    |    | 7  |
|    | E |           | 2  |    |    |    | 2  | 9   |    |     |    | 1  | 14 |
|    | C |           |    |    | 13 |    |    |     |    |     |    |    | 13 |
|    | 士 |           | 1  |    |    |    |    | 2   |    |     |    |    | 3  |
|    | 計 |           | 3  |    | 13 | 3  | 17 |     |    |     |    | 1  | 37 |
| 5  | M |           |    |    |    |    |    |     |    |     |    |    |    |
|    | E |           |    |    |    |    |    |     |    |     |    |    |    |
|    | C |           |    |    |    |    |    |     |    |     |    |    |    |
|    | 士 |           |    |    |    |    |    |     |    |     |    |    |    |
|    | 計 |           |    |    |    |    |    |     |    |     |    |    |    |
| 総計 |   |           | 3  | 1  | 14 | 19 | 46 |     |    |     | 4  | 9  | 96 |



# 新 着 図 書 目 録

◆印は図書館 他は各教育の研究室に  
所在するものを分別別受入順に記載

## 総 記

- 世界の名著早わかり事典 主婦と生活社  
朝日新聞縮刷版 昭和59年11月～12月号  
朝日新聞社◆  
福島民報縮刷版 昭和59年11月～12月号  
昭和60年1月号～  
陛下のみくしま 福島民報社◆  
図書館システムパッケージ組立 紀伊国屋書店◆  
昭和60年近 55日本写真年鑑 日本写真新聞社◆  
朝日年鑑 1985 朝日新聞社◆  
住宅地図いわき市平・好耐耐房'85 センリン◆  
柴田 武他 世界なぞなぞ大辞典 大修館◆  
金子重雄 講座情報と図書館1 雄山閣出版◆  
戸田光昭編 講座情報と図書館6 情報ネットワーク論 同 ◆

## 哲 学

- 松本三之介 明治精神の構造 日本放送出版協会◆  
宇坂良二 地平の月はなぜ大きいか ブルーバックスB514 講談社◆  
馬場謙一他 日本人の深層分析 有斐閣◆  
1 母親の深層 同 ◆  
2 父親の深層 同 ◆  
5 夢と象徴の深層 同 ◆  
8 創造性の深層 同 ◆  
9 子どもの深層 同 ◆  
宮坂啓輔 空海と真言密教 読売新聞社◆  
上山春平 空海 朝日新聞社◆  
セルマ・モス 生体エネルギーを求めて 日本教文社◆  
福永光司 道教と日本文化 人文書院◆

## 歴 史

- 山田安彦 地域の科学 古今書院◆  
田中 彰 「脱亜」の明治維新 日本放送出版協会◆  
矢野 暢 東南アジア世界の構造 同 ◆  
平川祐弘 進歩がまだ希望であった頃 新潮社◆  
荒井信一 第二次世界大戦 講談社◆  
パーナム・ツツナラーム アラブ人 日本放送出版協会◆  
柴田三千雄 近代世界と民衆運動 岩波書店◆  
風土と歴史1 北海道の風土と歴史 山川出版◆  
2 東北の風土と歴史 同 ◆  
3 関東の風土と歴史 同 ◆  
4 北陸の風土と歴史 同 ◆  
ヒブリア 57

- 5 東山の風土と歴史 山川出版◆  
6 東海の風土と歴史 同 ◆  
7 關西の風土と歴史 同 ◆  
8 山陰の風土と歴史 同 ◆  
9 瀬戸内の風土と歴史 同 ◆  
10 四国の風土と歴史 同 ◆  
11 九州の風土と歴史 同 ◆  
12 南島の風土と歴史 同 ◆  
大林太良編 東南アジアの民族と歴史 山川出版◆  
江上波夫著 作集3オリエント世界 平凡社◆  
小堀 巖 アラビアの旗から 沙漠にて 未来社◆  
河野俊二他 1930年代の日本 大阪書籍◆  
森 浩一編 古代日本の知恵と技術 同 ◆  
古設歴史散歩事典 山川出版◆  
関野吉晴 クロコチカなるインカの村 朝日新聞社◆  
山田安彦 地域の科学 古今書院◆  
服部註二郎 都市の裏情 同 ◆  
木崎甲子郎編 琉球の風水土 聖地書館◆  
饒味明克 地名学入門 大修館書店◆  
今戸栄一編 慣習と街道 日本放送出版協会◆  
横山孝雄 少数民族の旅へ 新潮社◆  
国土の現状とその歩み 日本地図センター◆  
明治ニュース事典 5.明治25年～30年 6.31年～35年 毎日コミュニケーションズ◆  
新日本ガイド 日本交通公社◆  
1 北海道 同 ◆  
2 東北 I, II 同 ◆  
3 日光・尾瀬・常陸 同 ◆  
4 東京・横浜・鎌倉 同 ◆  
5 房総・湘南・伊豆七島 同 ◆  
6 武蔵野・秩父・丹沢 同 ◆  
7 伊豆・箱根・富士 同 ◆  
8 上州・越後・佐渡 同 ◆  
9 信州・飛騨・木曾 同 ◆  
10 名古屋・美濃・三河湾 同 ◆  
11 北陸・能登 同 ◆  
12 近江・若狭 同 ◆  
13 京都 同 ◆  
14 奈良 同 ◆  
15 兩紀・伊勢・志摩 同 ◆  
16 大坂・神戸 同 ◆  
17 山陰 同 ◆  
18 山陽・四国 同 ◆  
19 九州I 同 ◆  
20 九州II・沖縄 同 ◆  
梅棹忠夫他 世界大地図帳 平凡社◆  
日本大地図帳 同 ◆  
加藤八千代 朝永頼一郎博士人とことは 共立出版◆  
E.C.スミス他 西欧人名知事事典 荒竹出版◆  
田岡良一 大津事件の再評価 有斐閣◆  
金坂清則 第三世界の都市と住宅 同 ◆  
R.W.チェンバース トマス・モアの生涯 大和書房◆

## 社会 科学

- 沼田 貞編 生態調査のすすめ 古今書院◆  
山口 廣 目でみる住まいの歴史 井上書院◆  
杉本尚次 日本のすまいの源流 文化出版局◆  
大村内一男 日本人の生活と労働 日本放送出版協会◆  
杉原四郎 経済史の歴史と現代 有斐閣◆  
住谷一彦 経済思想の事典 同 ◆  
宮沢健一 経済学と現代 同 ◆  
伊藤善市 現代人の経済学 同 ◆  
フェイス・ディーン 経済思想の発展 岩波書店◆  
ロス・マオア 日本人は「日本的」か 東洋経済新報社◆  
浜口忠俊 個人主義の社会 日本 同 ◆  
体系経済学辞典 6版 同 ◆  
杉原四郎 日本経済思想史 同 ◆  
水田 洋 経済思想史 同 ◆  
三上隆三 経済学事始 同 ◆  
岡田純一 経済思想史 同 ◆  
韓国人が見た日本 三友出版◆  
第三世界を知る 1 アジアの世界 大月書店◆  
2 中東の世界 同 ◆  
3 アフリカの世界 同 ◆  
上岡弘二編 イスラム世界の人びと 1 総論 東洋経済新報社◆  
佐藤次高 2 農民 同 ◆  
永田雄三 3 牧畜民 同 ◆  
家島隆一 4 海上民 同 ◆  
三木 巨 5 都市民 同 ◆  
竹内 実他 中国生活誌 大修館書房◆  
第三世界を知る 4 ラテンアメリカの世界 大月書店◆  
5 南からみた世界 同 ◆  
加藤九作 ユーラシア記 法政大学出版局◆  
新井 正 日本の水 その風土の科学 三省堂◆  
斎藤広志 ブラジルと日本人 三友出版◆  
青少年白書 59年版 大蔵省印刷局◆  
会社年鑑 上場会社版 1985 日本経済新聞社◆  
昭和60年版 日本教育年鑑 きょうせい◆  
近代経済学の基礎知識 有斐閣◆  
前田活郎 オペレーションズリサーチ 朝倉書店◆  
大庭 勝 アメリカン・マインド 開拓社◆

米山朝二 新しい英語科教育法 大修館  
 青木昭六 伝達重視の英語教育 同  
 E.S.クエイド他 システム分析 I, II. 竹内書店  
 日本の風俗史 福島民報新聞社  
 福田 豊 現代社会主義論 ありすえ書房  
 岩澤富太郎 図説 教育人物事典 上,中,下巻 ぎょうせい  
 江村栄一他 明治前期の憲法構想 福村出版  
 ダントレーヴ 政治思想への中世の貢献 未来社  
 T.B.モラル 中世の政治思想 同

---

**自然科学**

---

物理学辞典 培風館  
 図説地図事典 武揚堂  
 石川寛美 差分方程式入門 コロナ社  
 片山孝次 線形代数入門 実教出版  
 シュライナー シュライナー有機分析 廣川書店  
 小山次郎 レーニンジャーの新生化学 上 同  
 Solomons ソロモンの新有機化学 上,下 同  
 伊藤 実 土木のための BASICによる数値計算入門 工学出版  
 日本化学会総会記事第43回 59.10 福岡 日本薬学会  
 佐々木和夫 電極反応入門 化学同人  
 鹿岡啓夫 光工学の基礎 昭晃堂  
 R.B.Heslop 演習無機化学 東京化学同人  
 川口信一 触媒化学 裳華房  
 B.H.Mahan やさしい化学熱力学 化学同人  
 北野 康 地球環境の化学 裳華房  
 長 哲郎他 ポルフィリンの化学 共立出版  
 徳 廣茂 臨床検査技師をみざす人々のための生化学 技報堂  
 西村辰男 臨床検査技師のための有機化学 同  
 佐藤 彰 高温伊原子吸光分析の実験 講談社  
 Leonard K.Nash 化学熱力学入門 廣川書店  
 半谷高久 地球、水、思う 化学同人  
 山邊均雄 ノーベル賞科学者福井謙一化学と私 同  
 立花太郎 化学を創ってゆく運すじ 同  
 半谷高久 水とつきあう 同  
 山田祥一郎 配位化合物の構造 同  
 M.L.Mo Glashan S I単位と物理・化学量 同  
 後藤俊夫 化学英語の13章 廣川書店  
 Y.Merius

マーカス液体化学入門 化学同人  
 船野義夫 日本海の謎 築地青館  
 新井 正 日本の水 その風土の科学 三省堂  
 地震 東京大学出版会  
 浅田 敏 関東・東海地震と予知 岩波書店  
 中山正敏 電磁誘導 共立出版  
 岩波講座情報科学  
 1 情報科学の歩み 岩波書店  
 3 プログラムの読み方 同  
 7 論理と意味 同  
 8 情報の構造とデータ・ベース 同  
 12 算法表現論 同  
 14 計算機の機能と構造 同  
 15 計算機アーキテクチャ 同  
 16 オペレーティングシステムの機能と構成 同  
 17 離散数学 同  
 22 人工知能 同  
 鈴木正成 食生活をデザインする ブルーボックス B586 講談社  
 杉元賢治 トロジー遊び 〃 〃 B587 同  
 石浜淳美他 自分でできる健康診断 〃 〃 B588 同  
 中沢宜也 恐竜はなぜ絶滅したか 〃 〃 B589 同  
 石原藤夫 銀河旅行と特殊相対論 〃 〃 B590 同  
 高辻正基 記号とはなにか 〃 〃 B591 同  
 藤村幸三郎他 数学歴史パズル 〃 〃 B592 同  
 ジョン・グリビン スペース・ワープ 〃 〃 B593 同  
 竹崎正道 作用素理の構造 岩波書店  
 C.L.リュー コンピュータサイエンスのための組合せ構造とグラフ理論入門 マグロウヒル  
 岩波講座情報科学 岩波書店  
 1 情報科学の歩み 同  
 3 プログラムの読み方 同  
 6 オートマン形式言語理論と計算論 同  
 7 論理と意味 同  
 8 情報の構造とデータベース 同  
 12 算法表現論 同  
 14 計算機の機能と構造 同  
 15 計算機アーキテクチャー 同  
 16 オペレーティングシステムの機能と構成 同  
 17 離散数学 同  
 22 人工知能 同  
 渡辺 宏 有限群とその応用 同  
 三根 久 情報理論入門 朝倉書店  
 アグラムソン 〃 〃 好学社  
 都筑俊郎 有限群と有限幾何 岩波書店  
 福村晃夫 情報理論 コロナ社  
 中野主一 マイコン宇宙旅行 廣済堂出版

浦上智子 英語科学論文の書き方 理工学社  
 中村輝太郎 英語口頭発表のすべて 丸善  
 F.D.ハント 書の科学文化史 海青社  
 藤嶋 昭他 電気化学測定法 上,下 技能堂出版  
 日本化学会総会記事57年8月第41回総会(大阪) 日本薬学会  
 ドナルドゴールドスミス 宇宙に生命を探る 上,下 共立出版  
 マイコン宇宙旅行 廣済堂出版  
 室岡義広 わが星は電子である ブルーボックス B596 講談社  
 安倍 斉 応用微分方程式 共北出版  
 科学技術活用大辞典 英和・和英 インタープレス  
 田中 昇 図説 救急処置 新思潮社  
 高橋 康 統計力学入門 講談社  
 P.W.Atkins 物理化学の基礎 東京化学同人  
 細野敏夫 BASICによる高速ラプラス変換 共立出版  
 安居院 猛 電子科学シリーズ91 FFTの使い方 産業報知センター  
 近藤次郎 現代応用数学講座6 最適化法 コロナ社  
 木村正巳他 食餌蛋白質とそのモデル 共立出版  
 E.Cartmell エンジニアのための化学 東京化学同人  
 Robert J.Barker 生体物質の有機化学 同  
 化学実験研究会 化学実験操作書 廣川書店  
 堀尾武一他 蛋白質、酵素の基礎実験法 南江堂  
 一島英治 プロテアーゼ 学会出版センター  
 村地 孝 プロテアーゼと制御機構 共立出版  
 高橋泰常 細胞膜 同  
 Daeid, E.Mettrler 生化学(上)(下) 東京化学同人  
 M.Yudkin 他 生化学の基礎 第4版 同  
 井本 稔 私たちの生化学 東海大学出版  
 G.コーエン 細胞代謝とその調節 みすず書房  
 北海道大学教養部 新原化学実験 三共出版  
 片山幹郎 化学選書 レーザー化学(1) 裳華房  
 高分子学会 高分子科学実験法 東京化学同人  
 高分子科学の基礎 同  
 Flee Wold 生体高分子—その構造と機能— 同  
 竹内 望他 初等熱力学 統計力学 日新出版  
 藤田祐幸他 エントロピー 現代書館  
 講談社出版研究所 現代総合科学教育大系 SOPHIA 21 1set 講談社  
 1~13冊  
 岡田節人 がん細胞 東大出版会

岡田善雄 編訳融合と編訳工学 講談社☆  
 佐藤 彰 高温炉原子吸光分析の実験 同 ☆  
 GEOFFREY H. B 編訳内の機能分化 丸善☆  
 日本分析化学会 北海道支部 増補新版分析化学実験 化学同人☆  
 松田卓也他 ビックバンからブラックホールへ 岩波書店☆  
 長島順清他 ニュートリの謎 サイエンス社☆  
 戸田盛和 物理入門コース 1 力学 岩波書店☆  
 小出昭一郎 2 解析力学 同 ☆  
 長岡洋介 3 電磁気学 I, II 同 ☆  
 中島貞雄 4 量子力学 I, II 同 ☆  
 戸田盛和 5 熱、統計力学 同 ☆  
 恒藤敏彦 6 弾性体と流体 同 ☆  
 中野重夫 7 相対性理論 同 ☆  
 和達三樹 8 物理のための数学 同 ☆  
 柳瀬建男 9 現代物理学と新しい世界像 同 ☆  
 内山龍雄 10 物理学はどこまで進んだか 同 ☆  
 佐藤 茲 11 化学実験の基礎知識 丸善☆  
 実吉基郎 12 がん化学療法へのアプローチ 講談社☆  
 H. J. M. Bowen 13 環境無機化学 博友社☆  
 日本分析化学会編 高分子分析ハンドブック 朝倉書店☆  
 国際科学振興財団編 科学大辞典 丸善☆  
 野下浩平他 岩波講座情報科学10基本的算法 岩波書店☆  
 J. B. Stothers C-13 NMRスペクトル 廣川書店☆  
 マグロウヒル科学技術 マグロウヒル科学技術用語大辞典第2版 日刊工業新聞社☆  
 伊藤俊太郎他 科学史技術史事典 弘文堂☆  
 野下浩平他 岩波講座情報科学10基本的算法 岩波書店  
 インタープレス 科学技術25万語大辞典(英和) (和英) インタープレス  
 一條貞琴他 口頭発表のためのパソコン・グラフィックス 丸善  
 日本組織培養学会 組織培養の技術 同  
 J. B. SLITTLE Wood 基礎生化学 東京化学同人  
 Ola Bratteli Operator Algebras and Quantum Statistical Mechanics I, II Springer-Verlag  
 Theodore W. Gamelin Jordan Algebras Chelsea  
 Uniform Operator Algebras Pitman  
 Steve J. Heims John Von Neumann and Norbert  
 ヒブリア 57

Wiener M. I. T.  
 Henry. B. Laufer Discrete Mathematics and Applied Modern Algebra Schmitt  
 Yoshiomi Nakagami Duality for Crossed Products of Von Neumann Algebras Springer-Verlag  
 Operator Algebras and Applications Vol. 38, part 1, 2 A.M.S  
 Masamichi Takeshi Theory of Operator Algebras I Springer-Verlag  
 John Wermer Banach Algebras and Several Complex Variables 同  
 Y. Kuramoto Chaos and Statistical Methods Springer-Verlag  
 T. Tatsumi Turbulence and chaotic Phenomena in Fluids North Holland  
 Robert. D. Richtmyer Principles of Advanced Mathematical Physics Springer-Verlag  
 G. Ludwig Foundations of Quantum Mechanics I 同  
 H. Neumann Interpretations and Foundations of Quantum Theory Wissenschaftsverlag  
 Y. Kuramoto Chemical Oscillations, Waves and Turbulence Springer-Verlag  
 W. Horsthemke Fluctuations and Sensitivity in Nonequilibrium 同  
 N. I. Akhiezer Theory of Linear Operators in Hilbert Space Vol. I, II Pitman  
 Serban Stratila Modular Theory in Operator Algebras Abacus  
 Models and Sets Springer-Verlag  
 Van, Liut. J. H. Introduction to Coding theory Springer-Verlag

**工 学**

横山義雄 土木工事用語英和和英辞典 山海堂  
 鋼構造接合資料集成(3) 溶接接合(鋼構) 技報堂出版  
 館 暁 メカトロニクスのはなし 日刊工業新聞社  
 樋口登志男 CAD解説—その導入のために— 実教出版  
 図解メカトロニクス用語辞典 日刊工業新聞社  
 水本久夫 工業数学 I 物理数学 森北出版  
 II 数値計算法 同  
 相原康彦 流れの力学 基礎と応用 培風館  
 相澤龍彦 機械系のためのパーソナルコンピュータ応用 オーム社  
 H. C. マーチン 有限要素法の基礎と応用 培風館  
 O. C. フェンキーヴ・ワツ マトリックス有限要素法 同  
 G. ストラング 有限要素法の理論 同

和田裕苗 機械要素設計 実教出版  
 村田 裕 マイコンとセンサのインターフェイス技術 応用編・基礎編 日刊工業新聞社☆  
 小澤慎治 基礎通信工学 実教出版  
 重井芳治 電気通信工学 朝倉書店  
 後藤尚久 電磁工学演習 昭晃堂  
 洞 啓二 マイコン制御入門 コロナ社  
 金子尚志 PCM通信の技術 廣済堂出版  
 ランイ 通信方式 情報伝送の基礎 マグロウヒル  
 ドナルドモンロ ベーシック BASIC 近代科学社  
 林 信夫他 計算機ハードウェア実験 同  
 テキサス・インツルメンツ 光エレクトロニクス素子とその応用 マグロウヒル科学社  
 岡田 功他 化学工学ポケットブック オーム社  
 B. W. カーニハン プログラミング言語 C 共立出版  
 祐安重夫 LOGO人工知能へのアプローチ ラジオ技術社  
 日本の権 鉄の権百年のあゆみ 朝倉書店  
 国広哲男他 改訂プレストレスコンクリート橋の設計計算例 山海堂  
 徳永一視 ボケコンによる鉄筋コンクリートの計算 同  
 風間 徹 よくわかる橋梁・カルバード設計のポイント 同  
 相原康彦 流れの力学 基礎と応用 培風館  
 小山隆昭他 新しい下水道方式の計画と設計 鹿島出版会  
 小橋澄治 地すべり・崩壊・土石流 同  
 斜面礫化 同  
 石川智康 マイコンによる下水道技術計算プログラム入門 近代図書  
 国井隆弘 わかりやすい実用三角測量 工学出版  
 岸本 進 土木法規の基礎 同  
 光通信システム 昭晃堂☆  
 テレビジョン用語辞典 コロナ社☆  
 関 清三 デジタル変復調回路の基礎 オーム社☆  
 小畑秀夫 音声認識のはなし 日刊工業新聞社☆  
 NHK ラジオ FM 技術教科書 日本放送出版協会☆  
 町田正彦 コンピュータ・イメージング コロナ社☆  
 角田秀夫 実験によるオペアンプ回路と解析 東京電機大学出版局☆  
 電子通信用語辞典 コロナ社☆  
 佐藤 進 液晶とその応用 産業図書☆  
 ロボット工学とその応用 電子通信学会☆  
 テレメータとテレコントロール 同 ☆

テレビジョン用語辞典 コロナ社  
レダ技術 電子通信学会

高木 相 半導体電子回路 培風館

丹羽 登 超音波計測 昭晃堂

辻井重男 光ファイバー情報ネットワーク 同  
ドキュメント新産業革命  
1 エレクトロニクス最新編  
2 コンピューターの挑戦  
3 新素材-技術革新の引き金 日本経済新聞社

倉田正也 理想に挑む非金属材料 工業調査会

伊藤 雲 無機工業化学概論 培風館

竹田 雅 解説化学工学実験 同

瓜生敏之 未来社会と材料力学 東京大学出版会  
久松敏弘 ポリマー材料 同  
大蔵明光 複合材料 同  
化学工学プログラミング演習 培風館

若山 岳 組み立てる文化の国 文芸春秋  
茂在寅男 歴史を運んだ船 東海大学出版会  
柳田博明 セラミックセンサー ブルーボックス B585 講談社  
材料大事典 産業調査会

鹿 保夫 情報論 I 岩波書店  
宮川 洋 \* II 同  
情報産業とニューメディア 産業技術会議  
技術資料機械構造物の破壊事例と解析技術 日本機械学会

メカトロニクスシリーズ  
I 入門編  
II 基礎編 1 マイコンコンピュータの基礎と応用  
III \* 2 センサと知能ロボット  
IV 応用編 鉄鋼・自動車・重機械工業におけるメカトロニクス 技報堂出版

岩松幸雄 電子計算処理 新体系土木工学 4 同  
戸内敏一 PC-9801-E・F 田った時に開く本 技術評論社  
角谷博孝 98ユーティリティ&内部ルーチン解析 同  
岡本 博 パソコンによる透視図の作り方 オーム社  
大谷忠雄 Z80アセンブラと制御入門 啓学出版  
増田良介 機械制御のためのセンサ技術入門 近代図書

杉山 昉 マイコンとデジタルサーボ技術入門 同  
大下真二郎 Z-80プログラミング演習 学友社  
曾我直弘 初級セラミックス学 アグネ  
小池栄一郎 鋼の選び方 同  
本間基文 機能材料入門 上・下巻 同  
鋼・銅合金・チタンとその合金溶接のかんどころ 亜細出版

瓜生敏之  
ポリマー材料 東京大学出版会  
W.T. Marahall 構造力学 I II 吉井書店  
C. ジューガー 岩の力学と工学 土木工学社  
自動作図の基礎技術 土木学会  
最適化手法の構造・設計・解析への応用 培風館

橋東一郎 水理学 I 基礎土木工学全書 8 森北出版  
\* II \* \* \* 7 同

古岡幸男 図解土木環境水理学の基礎 技報堂出版  
最適構造設計 丸善  
技術予測シリーズ  
1 エレクトロニクス 日本ビジネスレポート  
5 新素材 同

黒木健実 パソコンによる境界要素法入門 森北出版  
工藤文彦他 PC-6801 BASIC入門 アスキー出版  
篠崎壽夫他 工学のための応用数値計算法入門下 同  
技術のこころ 一、二、 丸善  
柿沼昭俊他 ディスク百科 技術評論社  
森岡茂樹 パソコンCAD実践活用法 同  
藤本文彦 98FAN Books 2 98マシン語 同  
CP/M-86 実践マニュアル 同  
河西朝雄 98FAN Books 1 CP/M-86VS MS-DOS 同  
連続体の力学(I) 土木工学大系 5 彰国社  
天野英晴 だれにもわかるデジタル回路 オーム社  
高橋進一 信号理論の基礎 実教出版  
黒田表明 オーディオ方式工業技術英語入門 研究社  
ガブリアルディ 光通信システム マグロウヒル  
P.H. ウィンストン LISP 培風館  
建設機械化の30年 日本建設機械化協会  
日本建設機械要覧 1983 同

島田義章 実用建築測量 工学出版  
金属無機高分子材料 5 集 同  
科学技術広報財団

電気学会(出版課) 昭和60年電気学会全国大会論文集一冊 電気学会  
コンクリート用語辞典 日本コンクリート工学

秋村兼一郎他 生コンプラント-装置と保守- 同  
笠井芳夫他 コンクリート製造のチェックポイント 同  
日本コンクリート工学協会  
コンクリートのひびわれ調査補修指針 同  
海洋コンクリート構造物の防食指針(案) 同  
繊維補強コンクリートの試験方法に関する規準 同  
RC構造のせん断問題に対する解析的研究に関するコロキウム-論文集- 同  
第2回 \* \* \* 論文集・データ集- 同  
マスコンクリートの温度応力発生メカニズムに関するコロキウム-論文集- 同  
第2回 \* \* \* 同  
繊維補強コンクリートに関するシンポジウ

ム-論文集- 日本コンクリート工学  
Transactions of the Japan Concrete  
Institute  
V1. 1979 \* \* 同  
V2. 1980 \* \* 同  
V3. 1981 \* \* 同  
V4. 1982 \* \* 同  
V5. 1983 \* \* 同  
マスコンクリートの温度応力推定方法に關する既往の研究とその総括 同  
電子通信学会 昭和60年電子通信学会総合全国大会論文集 電子通信学会  
NECパソコンインフォメーションセンター PC-110 番 NECPC-8800 雑誌技術社

水谷幸夫 コンピュータによる熱移動と流れの数値解析 森北出版

岩井 実 機械工学のためのパソコン入門 近代図書  
荒木義彦 パソコン教室 森北出版  
竹内芳美 パソコン CAD/CAM 工業調査会  
西畑栄三郎 百の輪より一つの延長 日本規格協会  
川原睦人 有限要素法流体解析 日科技連  
佐藤良男他 ポンプ 省エネルギーセンター  
建設工業新聞社 建設業者要覧(1985年) 日刊建設工業新聞社  
情報処理学会 情報処理ハンドブック オーム社  
土木学会 美しい橋のデザインマニュアル 土木学会  
権 1982~83 1983~84 同

秋山桂一 セメント・コンクリートの化学 昭和研究所  
土木学会  
トンネル・ライブラリー第2号 ロックボルト吹付けコンクリートトンネル工法の手引書 土木学会  
コンクリート・ライブラリー第49号 鉄筋継手指針 同  
コンクリート・ライブラリー第50号 鋼線繊維補強コンクリート設計施工指針 同  
コンクリート・ライブラリー第51号 流動化コンクリート施工指針 同  
コンクリート・ライブラリー第52号 コンクリート構造の境界状態設計指針 同  
コンクリート・ライブラリー第53号 フライアッシュを混和したコンクリートの中性化と鉄筋の発露に関する長期研究(第2次) 同  
コンクリート・ライブラリー第54号 鉄筋コンクリート構造物の設計例 同  
コンクリート・ライブラリー第55号 鉄筋継手指針(その2) 同

コンクリート構造設計研究会 コンクリート構造設計資料 技報堂  
土木学会  
トンネル・ライブラリー 第1号 鋼筋トンネル指針に基づいた鋼筋トンネル設計計算 土木学会

尾形彦彦 ダイナミックプログラミング 培風館  
吉川敬則 ゼ8086ブック 廣済堂産報  
沖野教郎 自動設計の方法論 養賢堂  
広内哲夫 FORTRAN 77 言語-体系的用法の解説- 竹内書店新社  
C.T. ファイク 科学者のためのPL/I 共立出版

根岸正光他 情報システムのためのPL/I 近代科学社  
 半谷精一郎 現代人のコンピュータ PASCAL 朝倉書店  
 岡本 茂他 ザ・68000—ハードウェアソフトウェアアプリケーション 共立出版  
 成田誠之助 システム工学の手法 コロナ社  
 手塚慶一他 FORTRAN ユーザのためのPL/I入門 オーム社  
 東京電機大学出版局  
 第2種情報処理技術者試験問題の徹底研究  
 ソフトウェアの基礎知識 東京電機大学出版局  
 情報処理の関連知識 同  
 プログラム作成 1.2 同  
 川村 情 PC-9801 アセンブリ言語プログラミング入門(1) ナツメ社  
 アスキー出版局 標準MS-DOSハンドブック アスキー出版  
 山口富士夫 コンピュータディスプレイによる形状処理工学I(II) 日刊工業新聞社  
 W.G.ブライス他 確率過程工学 共立出版  
 森田 清 フーリエ変換と情報処理 オーム社  
 O.C. ジェンキニグ他 有限要素と近似 ワイリー・ジャパン  
 御牧 義 16ビットマイクロプロセッサ 昭晃堂  
 Jack. Furdum C-プログラミング 丸善  
 近藤次郎 システム分析 同  
 久保田宏 ルプランの未来 東海大学出版  
 田中良平他 未来をひらく新素材 森北出版  
 青木一二三他 新体系土木工学44 技報堂  
 志水英二他 マイコンを用いた自動システムの設計 日刊工業新聞社  
 河合勝司 機械技術者のためのマイコンエンジニアリング 同  
 河西朝雄 98 Fon books I 技術評論社  
 柿園昭俊他 ディスク百科 同  
 Gソフト開発室 CP/M66の実践マニュアル 同  
 森岡茂樹他 パソコン・CAD実践活用法 同  
 渡辺紀久男他 PC-9801 E/Eハンドブック 日本技術出版株式会社  
 西野 聡 マイコン制御入門 日刊工業新聞社  
 金山 裕他 マイコンによるロボット制御 CQ出版社  
 山之上寛二他 機械技術者のためのマイコン制御入門 日刊工業新聞社  
 ナツメ社編集部 PC-9801 E+E データファイル活用法 ナツメ社  
 金井 清 Engineering Seismology 東大出版会  
 井上祥平他 応用化学シリーズ4高分子材料の化学 丸善

野田健一 レーザと光ファイバー入門 共立出版  
 末松安晴他 光ファイバー通信入門 オーム社  
 樋口登志男他 CAD解説—その導入のために— 実教出版  
 山田義昭 機械工作法(歯車・歯切) パーク社  
 高橋 敏 機械設計法(5) 無段変速機の設計 同  
 須藤敏男 機械設計(9) 歯車減速機の設計製図 同  
 一色尚次 最新機械工学シリーズ7 伝熱工学 森北出版  
 スハスレ・バタンカー コンピュータによる熱移動と流れの数値解<sub>析</sub> 同  
 木村英紀他 PC-9801制御系設計プログラミング 日刊工業新聞社  
 日本道路協会 道路用語辞典 第2版 丸善  
 土木学会水理委員会 水理公式集 昭和60年版 土木学会  
 佐武正雄 土木工学大系5 連続体の力学(I) 彰国社  
 西野文雄 土木工学大系6 連続体の力学(II) 同  
 玉井信行 〃 〃 7 〃 〃 (III) 同  
 前田英明 マクロ・アセンブラの使い方 工学図書  
 中川博次他 グラフィックス・くらしと土木2 山と川と海 オーム社  
 三浦圭一 技術の社会史1 有斐閣  
 佐々木麗之介 〃 2 同  
 海野雅寿 〃 3 同  
 飯田賢一 〃 4 同  
 内田屋美 〃 5 同  
 藤崎壽夫他 工学のための応用数値計算法入門(上) コロナ社  
 神谷紀生他 境界要素法による計算力学 森北出版  
 相澤龍彦他 機械系のためのパーソナルコンピュータ応用 オーム社  
 河西朝雄 PC-9800・9800F 9800シリーズ 98グラフイクス入門 技術評論社  
 堂山昌男他 材料テクノロジー—ポリマー材料— 東大出版会  
 東京電機大学 第2種 情報処理技術者試験全問題解答集 東京電機大学出版局  
 脇 英世 PC-9801グラフィックス入門 ナツメ社  
 西田親生他 C言語プログラミング入門 啓学出版  
 池原正一他 機械のABC オーム社  
 小松定夫 構造解析学1 丸善  
 大西 清 JISにもとづく標準製図法 暹工学社  
 石田晴久

Cプログラミング 岩波書店  
 Roy H. Wirshing Civil Engineering Drafting Mc Graw-Hill  
 R.C.Smith Materials of Construction 同  
 R.L.Peurifay Construction Planning Equipment and Methods 同  
 Cecil Jensen Engineering Drawing and Design Fundamentals of Engineering Drawing 同  
 Billington The Tower and the Bridge Basic Books  
 Noise-Con 83 Proceeding Cambridge  
 Niels.J.Gimsing Cable Supported Bridges Wiley  
 14th International Symposium on Industrial Robots 7th International Conference on Industrial Robot Technology North Halland  
 E.J.Weldon Error-Correcting Codes Springer-Verlag

産 業

百野壽郎 漁村水産地学地理学3 古今書院  
 尾留川正平 農業地域形成の研究 二宮書店  
 梅村芳樹 ジャガイモ—その人とのかわり— 古今書院  
 小林 仁 サツマイモのきた道 同  
 日本土壤肥料学会 植物と金属元素 博友社

芸 術

矢野哲夫 写真処理—その理論と実践— 共立出版  
 笹井 明 写真の化学 写真工業出版  
 1978年度日本体育協会スポーツ科学研究報告集 Vol.2  
 1981年度～1983年度 日本体育協会  
 ヴィック・ブレードン ヴィック・ブレードンのテニスクリニック 講談社  
 大山倍達 100万人の空手 同  
 糸山勝司 バスケットボール 同  
 植芝吉祥丸 合気道 同  
 K.ローズウォール ローズウォールのゲーム 同  
 井上 卓 テニスレッスン 同  
 エドソン・ペレ ペレーのサッカー 同  
 小野勝次 陸上競技の技術 同  
 川廷栄一 テニス世界のプレー 同  
 牛木紫吉郎 サッカー世界のプレー 同  
 紺野 晃 オリエンテーリング 同

|  |   |                                    |
|--|---|------------------------------------|
| 高橋 進<br>健康マラソン入門<br>講談社                  | 牧 雅夫<br>自分で使える英語 ベーシック・イングリッシュ<br>北星堂書店 | 目加田誠著作集 1<br>社雨の詩と生涯<br>船橋書会       |
| 全日本スキー連盟<br>日本スキー教程<br>スキージャーナル          | アト・ド・フリース<br>イメージ・シンボル事典<br>大修館         | 近藤光男<br>鹿野素の研究<br>研文出版             |
| 藤田信義<br>身体活動の原理と応用<br>学術図書出版             | 多田幸彦<br>英語イディオム事典<br>同                  | 狩野直喜<br>清朝の制度と文学<br>みずず書房          |
| 井上恵三<br>パラレルスキー<br>永岡書店                  | 田崎清忠<br>アメリカ・ビクトベディア<br>同               | ドナルドキーン<br>百代の過客<br>朝日新聞社          |
| 月下降夫<br>新体育学講座18 体育原理(上)(下) 道通書院         | 池田重三他<br>英文用例事典語彙<br>日本図書ライブ            | 小沢正夫他<br>袋草紙注釈上・下<br>塙書房           |
| 鹿野修一<br>新体育学講座37 明治体育史<br>同              | 広永周三郎<br>英語略語辞典<br>研究社                  | 南政 浩<br>集式部集全評釈<br>空閑書院            |
| M.マフィア A.ホワイト<br>スポーツと超能力<br>日本教文社       | 市橋敬三<br>必ずものになる話するための英文法<br>同           | 安藤太郎<br>芥川文選集注釈<br>塙書房             |
| <b>語 学</b>                               |   |                                    |
| 学研漢和大学典<br>英文用例事典 語彙<br>日本図書ライブ          | 高部義信<br>アメリカ新語辞典<br>同                   | 安藤太郎<br>平安時代私家集歌人の研究<br>桜楓社        |
| 中村保男他<br>英和簡訳表現辞典<br>研究社出版               | 須藤敬次<br>大漢和辞典 一～六<br>大修館書店              | 藤岡忠美<br>袋草紙考証 歌学編<br>和泉書院          |
| 関田命子<br>現代デンマーク語入門<br>大学書林               | 天野富元<br>超遠卓<br>竹書房                      | 高野 弘<br>1920年代旅行記<br>冬樹社           |
| K.ジョンソン他<br>コミュニケーション・アプローチと英語教育<br>朝原書店 | <b>文 学</b>                              |                                    |
| 垣田直己他<br>英語のライティング<br>大修館                | 中国古典詩歌花3<br>詩史と詠物<br>小学館                | 樋口眞志<br>日本漢文学史<br>角川書店             |
|  | 中国古典詩歌花4<br>恋愛と詠物<br>同                  | 高島俊男他<br>中国古典詩歌花8 友情と別離<br>小学館     |
|  |   | 齊藤 勇<br>英米文学辞典<br>研究社              |
|  |   | P.スタンスキイ他<br>作家以前のオーウィル<br>中央大学出版部 |
|  |   | 志子田光雄<br>英詩理解の基礎知識<br>金屋堂          |

## 図書館関係今年度の顔触れ

### I 図書委員会(兼)視聴覚教育委員会

|     |       |         |
|-----|-------|---------|
| 館長  | 芋川 平一 | (一般教科)  |
| 副館長 | 山崎 数彦 | (電気工学科) |
| 委員  | 櫻田 芳樹 | (一般教科)  |
| "   | 佐藤新太郎 | (機械工学科) |
| "   | 高橋 辰男 | (工業科学科) |
| "   | 佐藤 恭輔 | (土木工学科) |
| "   | 篠岡 修治 | (事務部長)  |
| "   | 佐藤 安宏 | (庶務課長)  |
| "   | 加藤 勇  | (図書係長)  |

### II 図書係

|    |       |        |
|----|-------|--------|
| 係長 | 加藤 勇  |        |
| 係員 | 大谷 敦子 | (整理担当) |
| "  | 坂本恭仁子 | (受入担当) |
| "  | 原川 艶子 | (閲覧担当) |

### III 視聴覚機器担当者

|       |       |
|-------|-------|
| 機械工学科 | 渡辺 興人 |
| 電気工学科 | 猪狩 英男 |
| 工業化学科 | 芳賀 俊彦 |
| 土木工学科 | 馬目 孝男 |

### IV 学生図書委員会

| 学 科 | 機 械   | 電 気             | 化 学    | 土 木             |
|-----|-------|-----------------|--------|-----------------|
| 1   | 山崎 佳紀 | 齊藤奈津美<br>須藤 隆士  | 歌川真裕美  | 四條 晋一           |
| 2   | 佐久間由哲 | 大和田泰次郎<br>新妻 義孝 | 後藤 康範  | 志田 欣也           |
| 3   | 岸 泰成  | 佐藤 学<br>渡辺 学    | 平子ゆかり  | ○赤津 敦子<br>長浜 ミホ |
| 4   | 亀岡 勉  | 渡辺 百人           | ◎石井 慎二 | 古川 賀也           |
| 5   | 坂本 秀樹 | 鈴木 康寛           | 柳内 俊   | 高橋 弘光           |

◎委員長

○副委員長

ビブリア 57